

## R15a VERA による W49N - OH43.8-0.1 メーザーペアの試験観測 II

本間希樹、小林秀行、川口則之、柴田克典、宮地竹史、武士侯健、廣田朋也、寺家孝明、官谷幸利、マリアリオハ、ホセ石塚、藤井 高宏、小山友明、倉山智春、須田浩志、崔 崙景、呉 忠植、真鍋盛二、亀谷収、田村良明、堀合幸次、久慈清助、佐藤克久、岩館健三郎、酒井俐（国立天文台 VERA 観測所）、面高俊宏、今井裕、蒲原龍一、中川亜紀治、清水 理絵、中島 廣一郎、猪俣 則智、貴島 政親、空 佳澄、山下一芳（鹿児島大）他 VERA グループ

2003 年秋から始められた VERA の 2 ビーム試験観測のうち、W49N-OH43.8-0.1 ペア観測の結果について、2004 年秋季年会に続き報告する。W49N-OH43.8-0.1 ペアは VERA で観測可能な最も明るいメーザーペアであり、2003 年 10 月から始まった 2 ビーム試験観測で、この天体ペアをほぼ毎月一回のペースで観測している。これまでの観測から、2 ビームの大気位相補償能力が実証されたほか、W49N に準拠した OH43.8-0.1 の位置計測精度の検証も進められ、2004 年秋季年会では W49N に対する OH43.8-0.1 の相対固有運動とも解釈できる運動が検出されたことを報告した。

今回の発表では、前回の結果を検証するために、OH43.8-0.1 の単一ビーム VLBI としての解析を進めたのでその結果について報告する。特に、単一ビーム VLBI で計測された OH43.8-0.1 の内部固有運動と、2 ビーム観測で測定された OH43.8-0.1 の内部運動とを比較することで、VERA の位置および固有運動計測精度を定量的に評価する他、統計視差法などを用いた OH43.8-0.1 の距離決定についても紹介する。